デロイト トーマツの人

テーマからインタビューを探す

プロフェッショナルたちは、なぜデロイト トーマツを選んだのか。
仕事内容、働く環境、目指すキャリアなど、デロイト トーマツで働くプロフェッショナルたちの声をお伝えします。

グループ内の連携／多様な専門家との協業

地域社会の発展と組織の成長に貢献

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社　中京リスクアドバイザリー パートナー

多様な専門家との協働／働く環境・魅力／中京エリア

お客様の目線に立って、未来を想像する仕事

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社 マネージングディレクター

大手自動車メーカー出身／自動車業界／グループ内連携／多様な専門家との協働／働く環境・魅力

正しいことを言える独立した立場から、金融・保険業界の健全な発展に貢献する

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社 シニアマネジャー

DX支援／グループ内連携／多様な専門家との協働／働く環境・魅力

採用ページへ戻る

地域社会の発展と組織の成長に貢献

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
中京リスクアドバイザリー　パートナー
多様な専門家との協働／働く環境・魅力／中京エリア

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

Q. 現在の仕事内容について教えてください。

A. 自治体におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)や住民サービス提供の基盤となるITの企画・調達・構築に関するアドバイザリービジネスをリードしています。主たる担当エリアは中京地区ですが、関西や西日本の自治体からお声がけをいただいたり提案に行ったりなど、実際に現地に足を運び、会って話をすることで、多くの自治体を支援しています。こうした活動をとおして、地域課題解決や地域のデジタル化推進に貢献していると感じています。

また、中京リスクアドバイザリーユニットの事業ユニット長補佐として、中京リスクアドバイザリーユニット全体に関する戦略立案と実行、組織人事、他さまざまな業務の運営を補佐しています。
組織の持続的かつ高い成長を実現するために、戦略的な視点からのアプローチを重視し、各チームと協力して目標達成に向けて取り組んでいます。
一方、デロイト トーマツ ウェルビーイング財団の理事として、社会課題解決をつうじて公益の増進をけん引することで、より一層の社会価値の創出に貢献する活動も行っています。

Q. デロイト トーマツ グループで働くことの魅力はどんなところですか？

A. 最初に挙げるのは「デロイトが非常に多岐にわたる専門家の集団である点」です。会計、税務、法務、戦略、組織、デジタルなどの各分野の専門家が多数在籍しており、クライアントの経営課題や地域課題に対して総合的かつ専門的な提案が可能です。これはデロイトで働く者にとって非常に心強いことであると同時に、クライアントにとって、幅広いサービスと深い知見に基づく課題解決提案に驚きと価値を感じていただけているものと思っています。

次に挙げるのは「デロイト トーマツは個を尊重する組織風土を持っている点」です。タレント一人一人の個性や強みを最大限に活かし、チームとしてのシナジーを生み出すことを重視しています。このような環境で働くことで、自身の成長を実感しながら、組織の目標達成に貢献することができます。

特に、名古屋事務所にはご本人やご家族が中京地区に何らか地縁があって、名古屋で働くことをファーストプライオリティにしているメンバーが多くいます。名古屋で働きながら、地域のクライアントや地域課題解決に貢献できることに誇りと喜びを持っており、そして名古屋に400名を超える仲間がいることは大きな魅力です。

Q. どんな時に仕事のやりがいを感じますか？

A. 仕事のやりがいを感じる瞬間は日常的にあります。
まずプロジェクトを通じて、私たちの専門性や支援がクライアントの課題解決に貢献できたと実感できた時には、大きな達成感が得られます。また、その結果としてクライアントから感謝の言葉をいただけた時も、仕事のやりがいを強く感じます。クライアントからの「ありがとう」や「あなたのおかげで解決できました」という言葉は、私にとって何よりの報酬です。これらの言葉は私たちの努力が認められた証であり、次のプロジェクトへのモチベーションになっています。

Q. 今後の目標を教えてください。

A. 自治体向けのデジタル／ITアドバイザリービジネスについて、デロイト トーマツの総合力をより活かすことで「自治体のデジタルアドバイザリーといえばデロイト」と思ってもらえる存在になることを目標としています。これによりデロイトが一つでも多くの地域課題の解決に寄与したり、自治体による住民サービスの質を向上させたりすることができると信じています。また、中京リスクアドバイザリーがクライアントから選ばれる唯一無二の存在になり、あり続けられるよう、部門運営をリードしていきたいと考えています。

さらに、中京エリアで働くプロフェッショナルにとって最も憧れる職場にすることも重要な目標です。多様な働き方に対応した制度運用を行い、個を尊重する組織風土を維持することで、一人一人が自分の能力を最大限に発揮できる環境を提供したいと思っています。

これらの目標を達成するために、常に前向きな姿勢で挑戦し続け、チームと協力して目標達成に向けて取り組んでいきます。地域社会の発展と組織の成長に貢献することで、楽しみながら自分自身も成長し続けることができると信じています。

一覧へ戻る

採用ページへ戻る

お客様の目線に立って、未来を想像する仕事

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
オートモーティブ　マネージングディレクター　〈2021年6月入社〉
大手自動車メーカー出身
自動車業界／グループ内連携／多様な専門家との協働／働く環境・魅力

※役職・内容はインタビュー当時のものになります

Q.オートモーティブでの仕事内容について教えてください。

A. もともとオートモーティブユニットはコンシューマーユニット（製造業に専門性を持つチーム）の一部でしたが、自動車業界向けのビジネス拡大が期待されることから、独立してユニットとして動きだしたばかりのチームになります。そのため、現在は主に組織の基盤作りに注力し、人材を増やしながら、どのようにビジネスを展開していくのか、戦略を立てている段階です。リスクアドバイザリーの仕事で最も難しいのは、リスクの重要性をお客様に気づいていただくこと。お客様は日々の業務や目の前の課題への対応に追われていることも多く、将来、予想されるリスクについて説明してもなかなか心に響きません。そこで、リスクテイクによって、結果的に戦略がよりスムーズに実行できることを丁寧に説明し、リスクを放置することの危険性を認識していただくように気をつけています。

Q.デロイト トーマツ グループを選んだ理由を教えてください。

A. 前職は大手自動車メーカーに17年間在籍していました。新卒で入社してから一貫してサプライチェーンマネジメントやマニュファクチャリング領域などに関わり、情報システム部門を代表して、海外に駐在した経験もあります。そうしたなか、デロイト トーマツ グループのリスクアドバイザリービジネスがオートモーティブユニットを立ち上げると聞き、転職を決意しました。前職でのキャリアには恵まれていましたが、新しい組織を牽引していく仕事であること、これまでの経験を活かして自動車業界に外部の立場から貢献できる点に大きな魅力を感じました。

Q.デロイト トーマツ グループで働くことの魅力はどんなところですか？

A. いわゆるビッグ4と呼ばれる大手ファームを見ても、自動車業界に対するコンサルティングやファイナンシャルアドバイザリーなど、さまざまなプロジェクトが動いています。そのうえでトーマツのリスクアドバイザリーは、デロイト トーマツ グループのソリューションを組み合わせて支援することで、お客様のさまざまな部門を横断しながら課題を把握し、トータルで最適なサービスを提供することができます。また、私自身もグループに所属するたくさんのプロフェッショナルと会話することで、さまざまな知識を身につけることができ、成長を感じています。コンサルティングやアドバイザリー業務はハードワークというイメージがありましたが、トーマツではスタッフ、マネジャー、シニアマネジャーそれぞれが互いの意思決定を尊重し、権限委譲がしっかりとされており、効率的な働き方ができていると感じます。スピード感のあるサービス提供ができるのも、こうした組織体制だからこそだと思いますし、社内でしっかりと信頼関係ができているのは素晴らしいですね。

Q.今後の目標を教えてください。

A. まずは自動車メーカーやサプライヤーの目線に立って、日々の運用のなかできちんと使っていただけるツールや仕組みを提供することが目標です。一方で、リスクは常に変わりますから、将来にも備えなければいけません。たとえばこの先数年で考えても、自動車業界には大きく「サイバーセキュリティー」「デジタルトランスフォーメーション（DX）」「サードパーティーリスクマネジメント」「サステナビリティ」の分野でリスクが想定されるため、この4領域でサービスを提供していきたいと考えています。さらに中長期的には日本のみならず、国内メーカーやサプライヤーが進出しているアジアパシフィック地域全体を我々がサポートするための環境を整えたいですね。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A. リスクアドバイザリーは「未来を想像する」仕事です。担当する業界の10年後、20年後、30年後をどのようにイメージができるか。将来をイメージしてシミュレーションできる能力が、リスクアドバイザーとして重要な素養だと思います。中長期的な視点が明確でなければ、お客様から話を引き出せません。お客様との会話を発展させながら課題にフォーカスできる人が、リスクアドバイザーに向いていると思います。特にオートモーティブユニットでは、デジタルに特化した人材を強く求めています。これまでデジタルソリューションを使ってビジネスのプロセスを変えてきたような経験を持つ方には、幅広く活躍していただけるはずです。

一覧へ戻る　採用ページへ戻る

正しいことを言える独立した立場から、金融・保険業界の健全な発展に貢献する

デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社
デジタルガバナンス　シニアマネジャー　〈2018年11月入社〉
DX支援／グループ内連携／多様な専門家との協働／働く環境・魅力

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。

Q.デジタルガバナンスでの仕事内容について教えてください。

A.私の主な業務内容としては、保険会社のクライアントに対して、経営管理態勢や内部管理態勢の実効性分析と強化、不正事案と報酬・業績評価体系の関連分析、それらの課題分析に基づくデジタルソリューションの助言業務を行っています。
主なプロジェクトとしては、ビジネスモデル総点検や模擬的な金融検査、内部管理業務のDX（デジタルトランスフォーメーション）支援等があります。持続可能なビジネスモデルとするために、どのようなガバナンスや3つのディフェンスライン（3LoD）が必要なのかを、経営陣や現業部門の方々と意見交換を重ねて、クライアントに適合した解を導き出す。現実的な解がデジタルソリューションになることは多く、DXに関する具体的な助言業務は、クライアントの興味も強い領域です。。
これらのプロジェクトの背景には、昨今、金融庁が公表した「コンプライアンス・リスク管理基本方針」や「顧客本位の業務運営に関する原則」が強く影響しており、リスクアドバイザリー業務は、今後一層重要になっていきます。

Q.DTRAを選んだ理由を教えてください。

A. 経営管理態勢や内部管理態勢と、デジタルソリューションに関するアドバイザリー業務の双方を担えることが理由です。
デロイト トーマツという独立した立場で、世界的な企業の経営陣と直接意見交換を行い、ガバナンスや3LoDの実効性を検証し、問題があれば解決に向けた対策を一緒に考えていく。その中で具体的な解決策がデジタルソリューションに帰結するのであれば、監督官庁の見解や業界動向を踏まえて、経営陣にDXの助言を行っていく。このような仕事は、とても大きなやりがいがあります。

しかし、保険会社の一社員の立場で、会社を内部から改善していくのは、容易ではありません。
そこで、正しいことを言える独立した立場であれば、業界そのものを改善、変革していくことができるのでは、と考えたことが保険会社から転職したきっかけです。デロイト トーマツ グループであれば、業界に与える影響も大きいと考え、入社を決めました。

Q.DTRAで働くことの魅力はどんなところですか？

A.多くのプロフェッショナルと外を向いて働くことができる点は魅力だと思います。
現在監査法人トーマツからDTRAに出向しており、経営管理態勢や内部管理態勢等については、監査法人トーマツの立場として助言業務を行い、デジタルソリューションについては、ITリスクに関するコンサルティングサービスに特化したDTRAの立場として助言業務を行います。広範な領域について、外部専門家として仕事を行う中、相応の知見も必要とされます。実際のプロジェクトでは、監査法人トーマツやDTRA、その他のグループ会社と協働することがほとんどで、チームで検討を重ねながら、みんなが納得するソリューションを、チームワークによって出していきます。

クライアントに貢献できる質の高いアウトプットを出すために、グループのプロフェッショナルの知見やノウハウを集約し、アウトプットの評価はクライアントが行う。その一連の流れがシンプルで、個々の能力が最大限に発揮できる職場だと思います。

Q.今後の目標を教えてください。

A.大きな目標は、金融・保険業界に顧客本位の業務運営を定着させること。そのためにも、まずは個々の会社が顧客本位の業務運営を実施しやすくするための支援を続けていきたいですね。たとえばリスクの可視化もそのひとつ。顧客本位に反する行為に対して、事後的に対処するのではなく、予兆管理を実施し、リスクが顕在化する前の段階でその行為をコントロールしていき、不正の未然防止を図る。
年間数十万件以上の新契約や保全を取り扱う保険会社では、人手でそのリスクを網羅的に把握するのは不可能です。そこで解決策となるのが、デジタルソリューションによるリスクの可視化です。今までトレードオフになってきた業績向上とコンプライアンスをITにより両立させる。この課題を解決して、健全な業界の発展と社会の安定に貢献できればと考えています。

Q.この業界を目指す方へメッセージをお願いします。

A.デロイト トーマツのようなプロフェッショナルファームは、ビジネスを通じて社会を良くしたいと考える方に最良のポジションだと思います。もちろん、クライアントへの提案の際は、クライアント以上にその業界やビジネスのことを熟知していないと、説得力のある内容にはなりません。特に、経営陣に対してアドバイザリー業務を行う以上、広範かつ深い知見が必須になります。プロフェッショナルとして業界や社会を良くしていき、貢献していくという気概を持ち、努力を続けることが何より大事だと思います。

一覧へ戻る　採用ページへ戻る